

令和元年度第2回瀬戸市図書館協議会
議事録

日時：令和2年2月20日（木）午前9時57分から11時35分まで

場所：瀬戸市立図書館 1階 集会室

出席者：11名

<会長> 中井 孝幸

<委員> 石川 良文、白井 和人、加藤 絹子、新海 弘之、丹羽 光成、福田 直美

<事務局> 教育部長 林 敏彦、図書館長 吉村 きみ、図書館主事 村井 理紗子、

臨時職員 細川 かおり

欠席者：副会長 加藤和守、委員 金谷 みどり

傍聴者：3名

議事内容：

1 開会

事務局（図書館長）進行

- ・ 会議成立の報告
- ・ 傍聴者へ注意事項の説明
- ・ 委員へ議事内容記録のための録音の説明

2 あいさつ

○教育部長

先般、2月1日に、瀬戸市の小中一貫校「にじの丘学園」の、完成記念式典を挙行了た。午後からは、市民内覧会を開催したところ、市外・県外の方々も含め、総勢2,200名が来場し、小中一貫校への取り組みへの関心の高さを改めて認識した。本日の議題（3）でも説明予定だが、にじの丘学園の学校図書館「にじの丘ライブラリー」についても、7番目の地域図書館として開館予定である。

前回に引き続き、今回も、図書館運営・図書館整備について活発な議論をいただきたい。

○事務局（図書館長）

- ・ 資料確認

3 議事

○事務局（図書館長）

議事に移る。議事については、瀬戸市図書館協議会条例第8条第1項の規定に基づき中井会長を議長として進行をお願いする。

○会長

私も2月1日の式典に参加した。私は、設計プロポーザルの審査委員として関わったが、私が気に入ったポイントは学校図書室をメインで考えているところであった。式典を行った会場が図書室であったが、その時には、まだ本が無かったので、資料を見て、本棚に本が入ったことを知った。にじの丘ライブラリーについては、機会があれば調査研究の対象としたいと考えている。

最近の新型コロナウイルスの流行により、自宅で過ごす時間が増えるため、図書館の利用が増えることも考えられ、図書館業務が忙しくなるかもしれないが、周りの状況に惑わされず取り組んでいていただきたい。

(1) 令和元年度図書館活動報告について

事務局（図書館長）より資料1に基づき説明

〈質問等無し〉

(2) 令和2年度図書館事業計画について

事務局（図書館長）より資料2に基づき説明

○委員

本校の地域図書館（光陵中学校地域図書館）は、外から入れて、教室部分へは入れない構造となっている。にじの丘ライブラリーは、利用者が教室部分へも自由に入れてしまうようだが、セキュリティ面は大丈夫か。

○事務局（図書館長）

その点については、今後、学校側との協議により決めていく予定であるが、教室部分へ行けないように、シャッターを下ろす、廊下でつながっている特別教室については、鍵をかけるなどの対策を行う予定である。品野台小学校の地域図書館も同様であるが、入ってほしくないところには鍵をかける等、セキュリティの面は、今後学校としっかり話し合っただけで対応していきたいと考えている。

○委員

地域図書館利用者が、通路を歩くことで、セキュリティが反応してしまうことが考えられる。セキュリティが反応すると、夜中であっても教職員が、駆け付けなければいけないという注意点がある。

○会長

地域図書館（にじの丘ライブラリー）はいつから開設されるか。

○事務局（図書館）

6月以降の開設を予定している。

○委員

地域図書館の入り口は、生徒の出入り口と同じか。

○事務局（図書館長）

児童生徒使用出入口とするか、その向かって左側にある通用口とするかという点は検討中であるが、いずれにしても、昇降口と同じとなるよう計画している。

○委員

一般的によくわかる入り口でいいか。

○事務局（図書館長）

はい。駐車場も近くにある。

○委員

地域図書館の開設にあたり注意すべき事として、地域の人が、ずっと入りやすくたくさん利用してもらえること、児童を守るセキュリティをしっかりとすることの両方を考える必要がある。前者について、にじの丘ライブラリーは入り口が分かりやすいが、光陵中地域図書館のように、入り口が分かりにくい図書館もある。利用しやすく、セキュリティも万全であることを注意してほしい。

○会長

にじの丘ライブラリーは、当初から地域図書館となることを想定して作られているので、シャッターがついていたり、入り口等も分かりやすい。実際に、たくさんの人が地域図書館を利用するようになると、委員が指摘したような懸念が起こりうる。開設後何か月かは様子をみながら運営していく必要があるだろう。

以前に地域図書館について調査したところ、そこまでたくさんの方がいるわけではないが、本館の利用者が地域図書館も使っているという印象であった。もちろん、交通弱者の利用も多かった。にじの丘ライブラリーはエレベーターもあり、駐車場も止めやすく、地域以外の方が利用することも期待できる。

○委員

議題（1）にも関連した質問であるが、本来、今年度の活動を踏まえて、令和2年度の事業を計画しなくてはならない。場所的な制約がある中、ソフト面で色々な取り組みを行ったことを否定するわけではないが、利用者の意見を聞きながら、次年度に向けて進めていくことが大切だと考える。利用者の意見を聞くためのアンケートは行っているか。

○事務局（図書館長）

行事ごとにアンケートを行っているほか、普段から意見箱を設置して、市民の方の意見を集めて進めるようにしている。

○委員

今後も、人数だけでなく、実施後の意見も集めるようにして、進めてほしい。

○委員

事業計画に、高校の図書館めぐりが記載されていないが、来年度は行わないのか。

○事務局（図書館長）

まだ高校との調整が行われていないので載せていないが、図書館としては行いたいと考えている。

○委員

事業計画に、地域図書館を活用した計画は記載されているか。もしくは、地域図書館の使い方の面で何か計画しているか。

○事務局（図書館長）

まだイベントは計画していないが、にじの丘ライブラリー地域図書館のオープニングイベントは考えていきたい。

○会長

色々な所で、瀬戸市の地域図書館の取り組みを紹介しているが、なぜ開館日が土日だけなのかという意見が多い。その質問については、司書の派遣が土日にしかないからと答えている。交通弱者のための図書館を土日だけでも設けている地域図書館はユニークな取り組みである。委員が言うように、もう少し本館と地域図書館の連携を強めるとよいのではないか。

めりーらいん事業は、愛知医科大学と、瀬戸市立図書館の連携事業ということでよいか。大学コンソーシアムせととは別事業か。

○事務局（図書館長）

めりーらいん事業は、愛知医科大学図書館を中心に、尾張旭市立図書館、瀬戸市立図書館、長久手市中央図書館、日進市立図書館が連携し、医療と健康に関する情報を提供する事業である。大学コンソーシアムせととは別事業である。

（３） にじの丘学園地域図書館の開設について

事務局（図書館長）より資料３に基づき説明

○委員

絨毯が敷かれた場所での読み聞かせスペースはあるのか。また、横の階段が舞台にもなり、その場所で読み聞かせも出来そうであるが。

○事務局（図書館長）

読み聞かせスペースはあるが、下は絨毯ではなく、木材である。そちらでもおはなし会が開催できるし、横の階段が舞台にもなるので、そちらも活用していきたいと考えている。

○委員

本館では、パイプ椅子を出して、おはなし会を行っているが、後ろに転んでしまう子ども

もいる。読み聞かせスペースは、安全に配慮されているか。

○事務局（図書館長）

読み聞かせスペースは、椅子は置く形ではないのでフラットなので安全であると考えている。

○委員

にじの丘学園に統合された学校は、瀬戸市の陶芸資料・作品をたくさん持っていた学校である。新しい建物に浮かれることなく、子どもたちのために、地域の特徴を生かして、取り組んでいただきたい。

○委員

同じ意見である。地域理解、地域のアイデンティティのためにも地域図書館には、それぞれの地域の特色を生かした資料を集めるべきだ。品野台小学校地域図書館には、地域の資料が揃えられていてよいと思った。

○事務局（図書館長）

にじの丘ライブラリーには、地域資料コーナーを設ける予定だ。すでに、廃校となる小学校から、地域資料の引き上げを行った。

○会長

三重県大台町で、廃校となった校舎を自然学校として活用しており、図書室に残しておいたアルバムを見に来る人が多いらしい。アルバム等をきっちり残すことも大切ではないか。ここでもよいが、地域図書館にそんなコーナーがあるとよい。また、滋賀県愛知川の図書館では、子どもたちが作ったものなどを地域資料として徹底的に集めている。そういったことも大切ではないか。

○事務局（図書館長）

100周年での刊行物など、発行時に収集漏れとなっていたもの等、廃校となる学校へ足を運び、にじの丘に展示するため図書館へ寄贈していただいた。今後も責任をもって保存していきたい。

○会長

にじの丘学園の階段“のぼり窯ステップ”について、階段の横に本棚が付いていて特徴的である。図書館の方は危ないと感じると思うが、建築の方は、取り入れたいと思う方が多い構造である。階段の下はどのようなになっているか。

○事務局（図書館長）

階段の下はカウンターである。

○会長

階段の下は、子どもたちが籠れるおはなしコーナーにしても良かったように思うが。しかしながら、運用後不具合があれば、変更してもよいと思う。

本館は手狭であるので、地域図書館にそれぞれ地域および蔵書の特徴を持たせる等して活用していくことも大切ではないか。ぜひ、検討していただきたい。

(4) 図書館整備事業について

事務局（図書館長）より資料4、5、6に基づき説明

○会長

資料4-2は、ここ（瀬戸市立図書館）の改修スケジュールということか。

○館長

そうである。

○委員

会長に質問である。この図書館の一番のネックである、本棚が無いという問題があるが、建築的に、本棚を増やすことはできるのか。

○会長

増やすのは難しいのではないか。逆に、本を読むためのスペースが少ないように感じるので、本棚を減らしたほうがよいのではないか。

○委員

学校からブックトークを頼まれた際など、本棚がぎちぎちで探せないということが起きている。当分この建物を使っていくことになったが、使い勝手が悪いように思う。

○会長

むしろ、本は少ないほうが探しやすい。本棚を減らしたくないとなると、本棚を変える、見せる収納をする等のアイデアもある。

○委員

建物的な面で、良いアイデアがあればよいと思う。

○委員

図書館の形は、ずいぶん変わってきている。個人的には、全部開架にしてほしいぐらいだが、そのようにすると、ものすごい敷地、棚が必要であるので、不可能であろう。開架は少ないが、人が集まれるスペースとして作り直すのが世の中の流れだ。ヨーロッパなどでは、パソコンで検索し、ボタンを押すと、その本がすーっと出てくるシステムなどがある。この時代、やり方は色々あるが、どのようなやり方を選択するかではないか。最初の、根本的なところから考えてよりよい図書館にしてほしい。

○会長

収蔵をコンパクトにするということについては、細いところに、高く本を積み上げたり、使えない隙間のスペースを活用する自動化書庫などもある。開架をとるために、そのような

ことを本腰をいれて考えてゆくという事もあるが、図書館の使い方から考えるほうが、考えやすいので、「こういった使い方がよいのではないか」という意見を多く出していくとよい。

○委員

私が挙げた開架を増やすことも、自動化書庫も、両方ともお金がかかることではあり、そこまで想定されていないかもしれないが。

○委員

新しい本は届くが、入れる場所がないということで、苦肉の策で本棚にぎちぎちに収めているのではないか。図書館が一番困っているのではないか。

○会長

本棚を変えるのは手段の一つである。色々なパターンを考え、蔵書冊数を増やすには、開架冊数を増やすには等プランを複数案持つのがよい。

○委員

長期にわたって考える姿勢がとても良いと思う。予算を制約を考えずに話し出すと、色々な案が出てしまうので、このくらいの規模感で考えているというのを出してほしい。そこから市民の方の意見を聴くなどして、最善の案を考えるとよいのではないか。

○委員

資料4の具体的にはというところに、協議会での話し合いが反映されていて安心した。利活用計画について、地域図書館・情報ライブラリーを含めたということであるが、どの程度の振り幅で考えているのか。また、誰にとって居心地のよい図書館とするのか。中高生、子ども、高齢者で全然違ってくる。どの機能を外に出すかで、この構想がどのくらいの効力を持ちうるのかで、情報ライブラリー（パーティセと3階）は上手にを使えばもっと活用できる。3、4階に入っている機能を上手に結びつけるような思想があって、その中で情報ライブラリーをどう生かすかというところまで、この利活用計画でどこまでふれることができるかということをお伺いしたい。先ほどからお伺いしていて、情報ライブラリーをうまく使えていないように感じる。ホームページを検索したら、「ページがありません」と表示されていた。全体構想を含めて考えていただければと思う。

○事務局（図書館長）

本館にすべての機能を置くのは難しいということをご理解いただけていると思う。閲覧スペースを増やすことを考えたとき、PCルームや雑誌コーナーなど情報ライブラリーと本館で重なっている機能があるので、こちらにはどの利用者に来てほしいかということで考えたい。情報ライブラリーの隣は交流広場となっており、中高生が勉強に訪れるので中高生向きにしたり、駅すぐなので、会社帰りの人に寄ってもらうようにしたい。本館のPCルームを廃止し、情報ライブラリーに集約することも考えている。地域図書館は、地域の方に行ってもらえるよう、上手に機能を分散したい。

○委員

瀬戸市民は、図書館について、すごく期待していた。未だにすごいものができるのではと期待している人もいる。大人は、意見を言える場があるが、ここを利用する高校生等意見を言えない若い人もいる。ぜひとも、利用している高校生に声をかける等幅広い意見を聴くようにしてほしい。今は利用していないサラリーマンにも、意見があるかもしれない。予算等の兼ね合いの中、色々な市民の意見を聴いて最大限よい図書館になればと思う。

○委員

自分は、漫画喫茶、レンタルビデオ店が好きだが、どんどん減ってきている。ネットで見れる時代であるが、自分のように、漫画喫茶で漫画を読みたい人間もいるのである一定のところで減少は留まると思う。時代の流れというものもあるが、図書館においてもコアな方の利用は変わらないので、コアな方を引き付けるように維持すると、それが広がってくるのではないか。

○会長

島根県海士町では、島丸ごと図書館構想というユニークな取り組みを行っている。今何があるかをまず考え、学校に本があるので学校に司書をおいた。そこに、200㎡しかない中央図書館が出来たが、児童書は学校にあるので、中央館には大人の本と乳児用の本しか置かないという決断をした。何か、思い切った決断が必要かもしれない。令和4年度設計ということなので、令和2年度には、市民の意見を聴いたり、図書館協議会で議論をして、情報ライブラリーがあり、地域図書館がある瀬戸市の図書館の戦略を立てていくのは大切である。どこまで、実現できるかは分からないが、新しいアイデアのためにも議論は必要である。

今、全国に新しい図書館が色々と出来て、新旧を調査する機会を得ている。新しい図書館が出来た時には、一時的に利用をやめていた人が、再度利用するようになり、利用が増えている。改修などで、今まで使っていた人の掘り起こしができるのではないか。新規開拓を考えるのであれば、やはり子どもであり、学校や、家庭や図書館で本を読む習慣をまずつけることが大事である。そういったことができれば、情報ライブラリーや、地域図書館の位置づけを考えていけるのではないかと思っている。

滋賀県の長浜市は、中央館が無かったので、新しくできた図書館に中央館の機能を持たせるとのことで、その報告も出来ればと思っている。

平成28年に瀬戸市で、来館者調査をしたときには、ここではなく、日進・長久手の図書館を使っている人が結構いることが分かったので、こちらにも魅力を感じてもらえるようにしたい。その魅力が何なのかということも併せて考えたい。

○委員

光陵中学校では、昼放課にブックトークを図書館司書にやってもらっているが、ブックトークがあるときには、図書室に人が集まる。どんな本を読んだらいいかと迷っている生徒もいるので、そういったことがあると、本を読むきっかけになる。入試の面接練習で、最近読んだ本を聞かれた際に、ブックトークで紹介された本を読んだと言った生徒もいる。こういう機会を増やして、本を読む子を増やしたい。

○委員

図書館を好きな人がつくっている図書館友の会について、瀬戸の図書館はこんな魅力的な取り組みをしているということを発信する会報を作っているのでご覧いただきたい。市民を大切にする図書館というコンセプトをずっと持っていていただきたい。

この図書館では、返却もれを防ぐために返却時にもカードを出してもらい取り組みを行っているが、任意ということを知らない人が、カードを出すのが面倒だということで、他の図書館に利用者が流れているのは事実である。そういった人たちも大切にできるようにしていただきたい。

○委員

日進の図書館では、貸出も返却も自動化が進んでいるので、瀬戸市もそういった形で進めていくといいのではないかと思う。学校の LAN も整備されてきたので、子ども用の端末を置いて、本の予約が出来るようなくみがあればいいのではと思う。

○委員

中期事業計画と、電算システムの更新が、令和3年度に行われるということであるが、中期事業計画を前提とした、電算システムの更新は間に合わないということか。

○事務局（図書館長）

5年のリース期限がここで来るので、そうである。パソコンルームをどうするかということも電算リースに含まれるので、ここを見据えて利活用計画を立てていかなければならないという意味でここに載せている。

○委員

中期事業計画を練っていく段階で、必要な電算システムのスペックはできる限り盛り込んでいただきたい。

○会長

そういった議論が、令和2年度にできれば、中期事業計画に反映させることもできる。そういった意味で令和2年度は、皆さんの意見を聴いたり、市民の意見を聴く機会を設けていただければと思う。来年度が色々な意見を聴く勝負の年になる。

○会長

その他意見はないようなので、以上で議事を終了し、進行を事務局にお返しする。

4.その他

議長から引き継ぎ、図書館長が進行

○事務局（図書館長）

この協議会の委員の任期は2年間で、今年の4月30日までとなっている。任期終了日までに協議会の開催はないが、ご相談等があれば、メール等でお願いする場合もある。次回の委員も、引き続き皆様をお願いしたいと考えているので、また個別に相談をさせていただく。

5. 閉会

令和元年度図書館活動報告

各種講座・行事の開催

ア 夏休みこども理科教室

日時：令和元年7月31日（水）午前・午後2回

場所：図書館 1階 集会室

協力：瀬戸市理科教育研究会

参加：市内小学生3～6年生 59名参加



<講座「夏休み子ども理科教室」>

イ 夏休み宿題応援企画「がんってなあに？」

日時：令和元年8月7日（水）午前10時～正午

場所：図書館 1階 集会室 参加：20名

協力：公立陶生病院緩和ケアセンター

※めりーらいん図書館連携健康支援事業として開催



<講座「がんってなあに？」>

ウ 夏休み宿題応援企画「読書感想文を書こう！」

日時：令和元年8月2日（金）

① 午前10時～12時（小3・4年生）

② 午後1時30分～15時30分（小5・6年生）

場所：図書館 1階 集会室

参加：① 18名 ② 17名

エ 第23回 図書館まつり

期間：令和元年10月24日（木）～11月26日（火）

内容：10/26 文学カフェ（32名参加）、11/2 パンパだっって読み聞かせ（親子4組11名参加）

10/27 読み聞かせリレー（31名参加）、11/9 土曜おはなし会とえいが会（18名参加）

11/2 こども1日司書（8名参加）、11/3 本のリサイクル市（704名来場）

11/17 ビブリオバトル（56名参加）

11/5～11/12 「図書館めぐり！高校の図書館に行こう」（一般参加238名）

10/24～11/26 図書館友の会作品展、10/27～11/2 キッズルーム開設



<図書館まつり「文学カフェ」>



<図書館まつり「ビブリオバトル」>

オ 大人の朗読会

「大人のための朗読会」

日時：令和元年11月29日（金）午前10時～11時

場所：図書館 1階 集会室 参加：16名

「君が思い出になる前に」開催予定

日時：令和2年3月17日（火）午前10時30分～11時30分

場所：図書館 1階 集会室



<大人のための朗読会>

カ 読み聞かせボランティア研修会・交流会

日時：令和元年12月2日（月）午前10時～正午

場所：図書館 1階 集会室 参加：33名

講師：絵本作家 服部美法 氏



<読み聞かせボランティア研修会・交流会>

キ 法律セミナー（開催予定）

日時：令和2年3月7日（土）午後1時30分～3時

場所：図書館 1階 集会室 講師：弁護士 榊原雅文 氏

ク その他

・読み聞かせ・おはなし会（定期開催）

毎週月～金曜 午前11時から30分間 職員・ボランティアグループにより実施

第1土曜 午後2時30分～3時 おはなしぶらんこ

第2土曜午後2時30分～3時 おはなし会とえいが会

・こわ〜いおはなし会（7/29 第1部49名、第2部41名）

・春のおはなし会（3/30 開催予定）

・市民ギャラリー展示

読書感想画展（3/28～5/21）、金城学院大学広告研究会作成 ポスター展示（5/23～6/25）、

水野アー氏木版画集（6/27～9/20、作品入替3回）、「ふるさと再発見 山渡る風」展（11/28～12/24）

郷土史研究会の展示（2/27～3/24 予定）

・情報ライブラリーでの企画展示

世界アルツハイマー月間（9月）、市民塾館関連展示（10～1月）

・教科書展示会（6/7～7/1） ※教科書センター事業



<情報ライブラリー企画展示「世界アルツハイマー月間」>



<ギャラリー展示「ふるさと再発見 山渡る風」展>

令和2年度 図書館事業計画(案)

	図書館協議会	事業							施設管理	地域図書館	学校図書館支援	市内施設支援等			図書館友の会
		図書館イベント	ブックスタート	図書館見学 職場体験等 受け入れ	読書活動 啓発・推進	展示	他図書館等との 連携事業	その他				公民館等図書室 の貸出(12館)	公共施設等へ の貸出	小中学校への 貸出	
通年		・おはなし会とえいが会 (毎月第2土) ・読み聞かせ(未就園児) (毎週月～金) ・大人の朗読会(年6回)	・月2回	・小2・3図書館見学 ・中2職場体験 ・高校生職場体験 ・大学生実習受け入れ ・小中教員研修 ・図書館見学日程調整(2月)	・子ども読書活動 推進協議会 (年1回)	・玄関展示(各月) ・市民ギャラリー展示 (各月) ・教科書センター(教科 書展示)	・大学コンソーシ アムせと ・図書館連携健康 支援事業(めりー らいん)		・定期点検 ・図書館施設整備 事業(電動式集密 書庫工事、樹木伐 採)	品野台小、光陵中、西 陵小、水野小、東山 小、幡山西小、にじの 丘学園 土・日・祝 10-15時開館	品野台小、光陵中、西陵 小、水野小、東山小、幡 山西小、にじの丘学園 週1回司書派遣(但し、にじ の丘学園2回) 依頼に応じて、読み聞か せ、ブックトーク派遣	深川・古瀬戸・ 效範・水南・陶 原・原山・萩 山・祖母懐・八 幡・幡山、品野 台・道泉 (年2回の入替)	幼稚園 保育園 やすらぎ会館 陶生病院 交通児童遊園 せとっ子F交 流館 少年院 発達支援室	掛川・長根・下品野・陶 原・幡山東・萩山 6校年2 回学校配達 学校への団体貸出随時	・世話人会 月第3土 ・本の補修 毎週火 ・会報発行 年3回
4月		こどもの読書週間行事 ・4/23-5/6キッズルーム ・(4/25)子ども読書の日記念 おはなし会	4/7、4/21		4/23子ども読書の 日 こどもの読書週間 4/23～5/12 関連行事	市：読書感想画展					・新入生・転入生利用カード作成 ・図書委員会にて、利用ガイ ダンス				4/19総会
5月		5/29大人のための朗読会	5/12、5/26	小2・3図書館見学		市：読書感想画展				5/3 水野小地域図 書館イベント(水野 まつり協賛)	・図書主任者会議			・学校配達1回目	
6月	第1回協議会開催		6/9、6/23			市：金城学院大学広告研 究会 ポスター展示 玄：教科書展示 (6/5～7/1)				西陵小図書入替(サ ポーター選書)					(6/)七夕飾付 6/27七夕おはなし会
7月		(7/)朗読会(大人) (7/)こわ～いおはなし会 (7/)子ども理科教室	7/7、7/21												7/22図書館友の会懇談会
8月		(8/)読書感想文を書こう	8/4、8/25				(8/)めりーらいん がん教育イベント								
9月		9/3大人のための朗読会	9/8、9/29				(9/)めりーらいん 上映会「折り梅」		・樹木伐採 ・電動式集密書架工 事			・公民館入替 ・陶生病院入 替			
10月		図書館まつり10/24～11/15 ・キッズR 10/29～11/2 ・10/24文学カフェ ・11/3本のリサイクル市 ・(/)子ども1日司書 ・(11/)ピブリオバトル ・おはなし会 ・(/)読み聞かせリレー	10/6、10/20	・小2・3図書館見学 ・中学生職場体験 学習		市：友の会作品展					・図書主任研修支援			・学校配達2回目	10/29～11/24友の会作品展 10/24文学カフェ
11月		(11/)朗読会(大人)	11/10、11/24		読書週間 10/27-11/9		(11/)コンソ ピブリオバトル								11/3本のリサイクル市 11/27図書館視察 (11/)クリスマス飾付
12月			12/1、12/22			市：児童文学の会									12/19クリスマスおはなし会
1月		1/19大人のための朗読会	1/5、1/19												
2月	第2回協議会開催		2/2、2/16	・次年度図書館見 学日程調整			(2/)コンソ活動成果 報告会					・公民館入替			
3月		(3/)春のおはなし会 (3/)朗読会(大人)	3/9、3/23												
備考		その他の予定行事 ・読み聞かせボランティア交流会 ・法律セミナー													*特別館内整理休館 令和2年9月21日～9月30日

GUIDE MAP

にじの丘学園 ガイドマップ

配置図



周辺環境と調和した充実の環境

歴史ある5小学校と2中学校が統合されたにじの丘学園は、周辺環境との調和とそれぞれの地域文化の子どもたちへの継承を通し、地域とともに持続できる学校づくりを行いました。

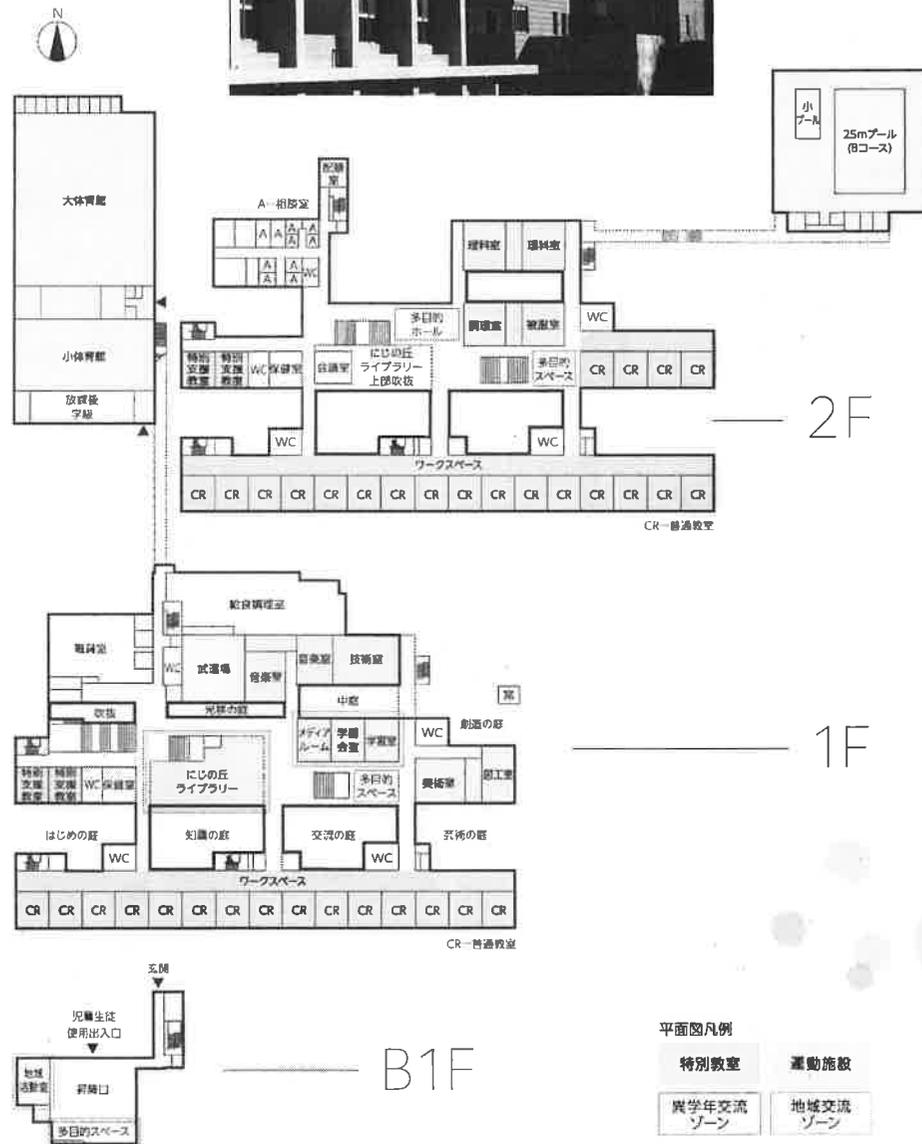
まちと森を結ぶ緑豊かなこの土地においてその地形を生かし、高低差のある3エリアを運動場、校舎、多目的広場・プールとすることで明快で持続可能な配置計画としました。

校舎は基本的に2階建ての低層とし、中央部には地域や子どもたちの交流を促すライブラリーや多目的スペースを設けるとともに、自然の光を取り入れた風通しのよい木の温もりのある教室を南面に配置しました。



1階：昇降口
2階：職員室

平面図



図書館整備事業について

<取組みの現状>

平成27年度

図書館の建設（移転、改築を含む）について、「瀬戸市立図書館整備基本構想」を策定しまとめた。

平成28年度

基本構想の中で挙げた5つの候補地について、具体的な建設の可能性を探り、建設にかかる費用、図書館建物の特質性（床荷重への配慮等）を検討する中、適地を見出すに至らなかった。

平成29年度

第6次瀬戸市総合計画のもと、市全体で今後取り組むべき事業の優先度を精査した結果、「図書館については、現施設を継続利用する」との方針となった。

平成30年度

基本構想策定を通じ、市民から寄せられた駐車場の使いづらさ等、現図書館の課題については、順次改善に取り組んだ。

おもいやり駐車場の整備

階段ノンスリップの設置

階段昇降機の設置

市民ギャラリーの整備

令和元年度

読書のバリアフリーコーナーの設置

コミュニティバスの乗り入れ

空調修繕工事

外部タイル（柱）修繕工事

土間修繕工事

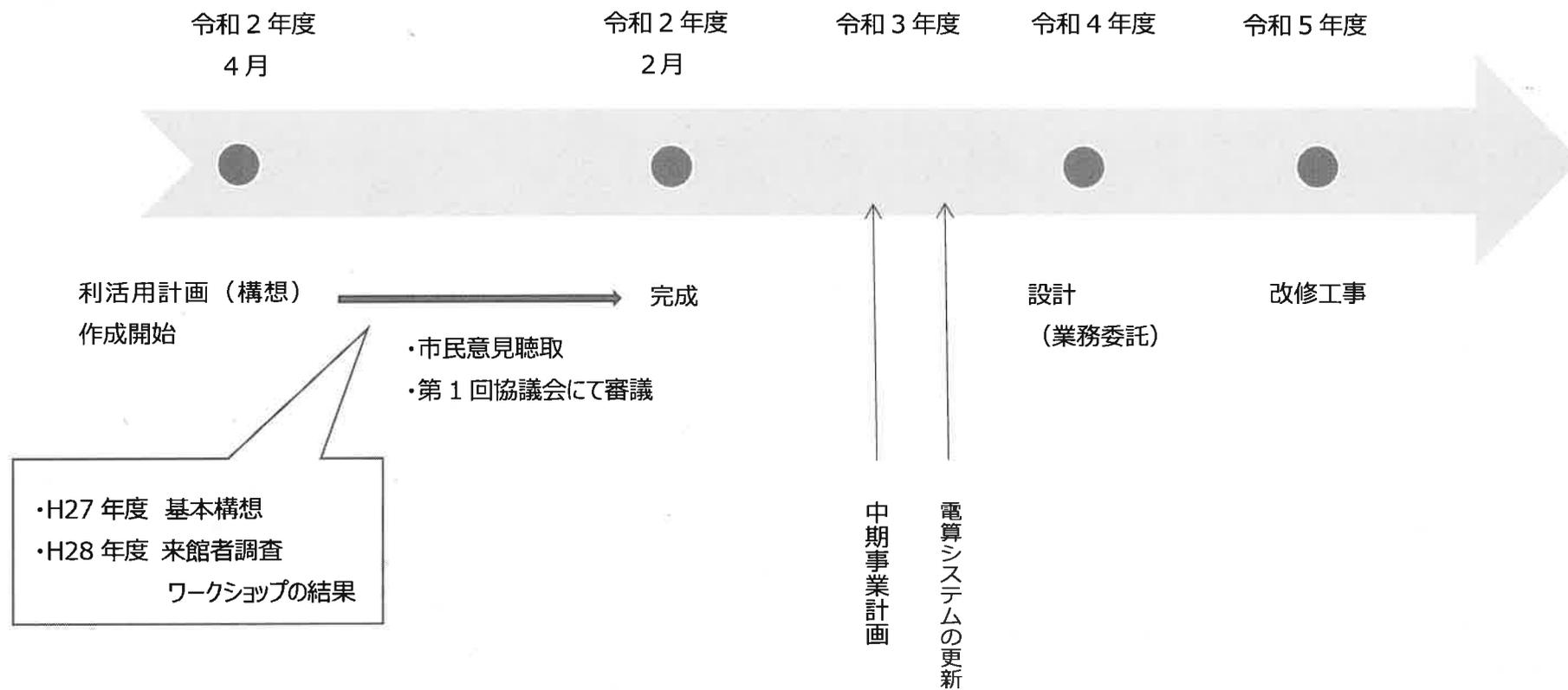
<今後の取組みの方針>

駐車場の改修等施設の修繕を進める中、利用者増加、読書のバリアフリーコーナーの設置による「大活字本」等の貸出回数の増加等の効果が上がっていることから、さらに現施設をより利用しやすいよう改修する。

現施設を利用するに当たり、床面積に限りがあるので、どの機能を残し、どの機能を捨てるかを精査し、施設のメンテナンスと併せて改修工事を行っていく。

具体的には、令和2年度に情報ライブラリー、地域図書館を含めた現施設の「利活用計画（構想）」をまとめ、令和3年度に中期事業計画に計上、令和4年度に設計、令和5年度に改修工事を行う。

改修スケジュール (案)



平成27年に「図書館整備基本構想」でまとめた「現状の課題の整理から導き出される図書館整備の方向性」とその後の取組み

	現状・課題・ニーズ	対応策として考えられること	その後の取組み
統計データから	入館者数、貸出数、新規登録者数の減少	新たな利用者の掘り起し アクセスの改善（場所の移転、交通手段の確保、開館時間の拡大、駐車場の拡充等） 魅力あるサービスの導入 資料の増加	おもいやり駐車場の設置、コミュニティバスの乗入れ ハッピークリーン（本の消毒機）の導入
	インターネット予約、館内インターネット利用の増加	非来館サービスの充実 インターネット利用環境の整備	電子書籍の導入検討 Wi-Fi環境の整備
アンケート調査、ヒアリング調査から	利用者層・利用のされ方の固定化	新たな利用者の掘り起し 貸出以外のサービスの充実	イベント開催 映画&トークショー がん教育講座 法律セミナー
	立地や駐車場の改善を求める声が多い	アクセスの改善（場所の移転、交通手段の確保、駐車場の拡充等）	おもいやり駐車場の設置、コミュニティバスの乗入れ
	空間的ゆとりや席の増加を求める声が多い	蔵書数・サービス計画にあった適正な平面計画 席数の増加	資料収集計画の作成 市民ギャラリーの整備
	資料の充実を求める声が多い	資料の増加	
	飲食できることへのニーズが高い	カフェの設置 自動販売機の設置 飲食できるコーナーの設置	自動販売機の設置
	学校図書館への支援	児童生徒の読書活動・調べる学習を支える資料の充実 学校図書館の選書やレイアウト等活動全般への助言 出張読み聞かせやブックトークの実施	学校団体貸出用の資料購入 地域図書館用の資料購入 司書派遣の実施、選書支援 出張読み聞かせやブックトークの実施（依頼書の配布）
	小中学生の利用率向上	魅力ある資料・情報の提供 Wi-Fi環境やおしゃべり、飲食等できる場所の確保	学校団体貸出用の資料購入 地域図書館用の資料購入 Wi-Fi環境の整備 市民ギャラリーの整備
	子ども連れでは行きづらいと感じている	親子で気兼ねなく行くことができる環境の確保 授乳室、おむつ交換ベッドの確保 託児や育児相談サービスの導入	キッズルームの開設（年2回） <u>授乳室の場所の変更検討</u>
（機関・団体として）図書館の持つ資源をもっと活用したい	ニーズに応じた資料の充実 団体貸出の拡充 出張読み聞かせ等の実施 各機関・団体と連携した相互の情報提供 講座の共同開催	リクエスト購入対応 団体貸出取扱要領制定 市民団体主催の講座の支援 ・ブックトーク ・資料展示、資料の紹介	
場としての機能の充実・拡張	アクセスの改善（場所の移転、交通手段の確保、開館時間の拡大、駐車場の拡充等） 高齢者や障害者にも居場所がある空間づくり 市民交流の機会となるサービスの提供 瀬戸市の歴史や文化を知ることができるサービスの提供	おもいやり駐車場の設置、コミュニティバスの乗入れ 階段昇降機の設置 市民ギャラリーの整備 テーマ展示の実施	

	現状・課題・ニーズ	対応策として考えられること	その後の取組み
瀬戸市の現況、 上位計画から	人口減少への対応	子育て支援サービスの提供 地域産業や観光と連携したサービスの提供	未就園児への読み聞かせの実施 (平日毎日)
	市の歴史や文化などの資源を活かした まちづくり	せともの資料収集の強化 資料デジタル化による活用拡大	郷土資料担当職員の配置
先進事例から	施設・機能の複合化	子育て支援、文化施設等との複合	
	最新のICT技術への対応	電子書籍、デジタルアーカイブ、図書館ICシ ステム等の導入	電子書籍の導入検討
	滞在型施設	居心地の良い空間の確保 カフェ等の設置	市民ギャラリーの整備
	デザイン性	瀬戸市の歴史性等を意識した外構・内装デザ インの検討	
	地域への波及効果	市民参加による運営	
地域の機関・団体と連携したサービスの提供			陶生病院との連携事業の実施 コンソーシアムせと連携事業 めりーらいん事業(医療健康支援)

現図書館の平面図(上:1階 下:2階)

